令和5年度第4回南会津町地域公共交通会議 会議録

I. 日時 令和5年12月21日（木）午後1時30分から午後2時20分

II. 場所 南会津町役場 本庁舎3階 正庁

III. 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料1】

(2) 南会津町地域公共交通計画（骨子案）について【資料2】

(3) その他

- 4 閉会

IV. 出席者（委員18人中12人出席）

区分	団体・機関等	職名	氏名	出欠
(1)町長が指名する役職員	南会津町	副町長	佐藤 一範	出
(2)一般旅客自動車運送事業者の代表	一般乗合代表 会津乗合自動車株式会社	バス・タクシー事業部 輸送管理課長	小澤 睦	出
	一般乗用代表 南会津町事業者代表 田島タクシー有限会社	代表取締役	馬場 丈晴	欠
	一般貸切代表 会津交通株式会社	代表取締役	吉田 正寿	出
(3)一般旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表	一般乗合自動車運送事業者の組織する団体の代表 公益社団法人福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	欠
	一般乗用旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表 社団法人福島県タクシー協会会津支部	支部長	佐藤 俊材	欠
(4)住民又は利用者の代表	高齢者代表	田島地区老人クラブ連絡協議会長	高橋 紀	出
	婦人代表	舘岩商工会女性部長	芳賀 久美	欠
	青年代表	南郷青年会事務局長	五十嵐 太介	出
	児童生徒保護者代表	田島小学校PTA会長	高倉 由雅	代理 酒井来武
(5)東北運輸局長若しくは福島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	佐々木 由隆	出
(6)一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が	一般乗合旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 会津乗合自動車株式会社 労働組合	書記長	山田 保道	欠

組織する団体の代表	一般乗用旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 福島県ハイヤータクシー労働組合会津支部	組合員	浅井 角栄	欠
(7)道路管理者、福島県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	福島県南会津地方振興局	県民環境部主幹兼副部長 兼県民環境課長	渡邊 啓晃	出
	南会津警察署	地域交通課長	根本 瞬	代理 三瓶裕
	南会津建設事務所	主幹兼企画管理部長	丸山 泰人	代理 菅野ひかり
	南会津町社会福祉協議会	事務局長	渡部 浩治	出
	会津鉄道株式会社	駅事業部部长兼会津田島駅駅長	湯田 仁	出

【事務局】南会津町総合政策課 地域振興係長：舟木浩隆 地域振興係主査：室井成美

【受託業者】株式会社ケー・シー・エス 東北支社 支社長：吉富貴洋 技師：伊藤良

V. 会議

～進行～

1 開会

(舟木係長)

・それでは皆さん定刻より若干早いですが、皆さんおそろいになりましたので、ただいまより令和5年度第4回南会津町地域公共交通会議を開催させていただきます。会議の司会を務めます総合政策課地域振興係長の舟木です。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議にあたりまして、現在町が計画策定を進めています公共交通計画の調査業務を受託する株式会社ケー・シー・エスより東北支社長である吉富様と技師の伊藤様にご出席をいただいておりますので、この場をお借りしてご紹介の方させていただきます。次に、本日の会議につきましては、委員18人中12人が出席しておりますので、規約第6条第2項の規定に基づきまして、会議が成立していることを申し上げさせていただきます。それでは、当会議の会長を務めます、南会津町副町長佐藤一範が挨拶を申し上げます。

2 会長あいさつ

(佐藤一範会長)

・皆さんこんにちは。副町長の佐藤です。本日の会議の開催にあたりまして皆様には、年末のお忙しいところ、また遠方よりご出席をいただきまして、ありがとうございます。

本日の協議内容につきましては、まず1点目といたしまして、令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価です。。本町で運行しております各地域のデマンドタクシーは、地域間交通ネットワークに接続しているフィーダー系統として認定をされ、国庫補助事業として実施しております。

補助事業につきましては毎年度、協議会みずから自己評価といたしまして、実施状況等を実施状況を確認、評価して、報告する必要がありますことから、委員の皆様には評価をいただくものです。。

次に2点目といたしまして、前回10月の会議で、公共交通計画策定の進捗状況や各種調査結果等を報告をさせていただきましたが、今回その結果をもとに骨子案として取りまとめをさせていただきました。

課題や、基本方針、各施策をお示いたしますので、ご意見をいただければと思います。

委員の皆様からは、忌憚のないご意見をちょうだいいたしまして、引き続き計画内容に盛り込んで参りたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

3 協議

(1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

○資料1に基づき、事務局（室井）から説明

(説明内容)

・まず、令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について説明いたします。この事業は、町内を運行している荒海、長野、栗生沢、館岩地域内、館岩田島地域間、桧沢地域の6系統のデマンドタクシーについての計画となっております。計画期間は令和4年10月1日～令和5年9月30日までの1年間で令和4年9月28日付けで承認された荒海、長野、栗生沢地域、館岩地域内、館岩田島地域間の5系統と、令和5年4月1日から本格運行のため計画変更を行った桧沢地域の併せて6系統の計画について、1次評価として自己評価を行うものです。この1次評価について今回の会議で承認をいただき、国へ提出することになっております。補助対象事業者は運行を委託している会津交通、田島タクシー、祇園タクシーの3社で、館岩地域内、館岩田島地域間は会津交通のみで運行しております。ではまず、荒海地域から説明させていただきます、②番事業概要ですが、営業区域は荒海、永田、田島地域で、実施内容は、

- ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへの利用の仕方や例を記載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる
- ・各タクシー事業車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る
- ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく
- ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目でわかるマップの作成・町内全戸配布をおこなう
- ・デマンド交通が外からみても認識しやすいように車両マグネットを作成する
- ・デマンド交通の出前講座を定期的で開催し、利用の定着を図る

となっております、

③番の前の評価の反映についてであります、記載されている前回の評価結果に対し、評価結果の反映状況として

- ・今年度についても地区のサロンなどに参加することができなかった
- ・事業者との定期的な意見交換により、令和5年8月から地区ごとにおおよそのお迎え時間を設定し、利用者の不安と事業者の事務軽減を図ることができた。

等をおこないました。

④番、事業実施の適切性については評価をAとし、「計画に位置づけられたとおり、適切に実施された」となっており、

⑤番、目標・効果達成状況は記載の通りであります、達成率が100%を超えており昨年度に引き続き良い結果となりました。

⑥番の事業の今後の改善点については、

- ・引き続き高齢者の集まるサロンなどでデマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図る。
- ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をしてもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。
- ・利用方法をまとめた動画を作成し、わかりやすい周知を目指す。
- ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。

等を行っていきます。

次に長野地域ですが、②番事業概要については、荒海地域と同じですので省略させていただきます。

③番前回の事業評価と反映状況についてですが、昨年度は目標値の設定において期待を込めた数字で設定してしまったため、実績値との乖離が起っていました。その反省を踏まえ、今年度は昨年度の実績を分析し、より実績値に近いあたりで目標値を設定することができました。

また、荒海地域ではできなかったサロン等の説明会を2回開催することができ、利用促進はもちろん、

すでに利用したことがあるかたの声も聞くことができました。

④番についてはAで計画に位置づけられたとおり、適切に実施されました。

⑤番、目標・効果達成状況は先ほども申し上げましたが、目標値の設定をしっかりとできたこともあり、達成率及び運行割合共に80%に近い結果となりました。

⑥番事業の今後の改善点については、荒海地域と同じ内容を行っていきますので省略させていただきます。

次に栗生沢地域であります、

②事業概要は先ほど同様となります。

③については前回の評価結果から今年度についても地区のサロン等へは参加できませんでした。また、ドアツードアのデマンド型への移行検討についても各地区区長や運行事業者との協議がととのっていないため、引き続き協議を進めていきたいと思っております。

④番についてはAで計画に位置づけられたとおり、適切に実施されました。

⑤番については目標値までは届いていませんが、前年度より利用人数及び達成率を増やすことができます。

⑥番については荒海・長野地域と同じですが、それに加え、先ほど申したとおりデマンド型を視野に住民の意見も取り入れながら本当にデマンド化が必要なのか、可能なのかも含めて協議を進めていきたいと思っております。

次に館岩地域内と館岩田島地域間ではありますが、同じ地域ですので一緒に説明させていただきます。

②事業概要についてですが、館岩地域内と館岩田島地域間は事業者が会津交通のみとなっています。

③番については前回の評価結果を踏まえ、利用促進に力をいれ、各地区でデマンドタクシー利用説明会を合計7回実施し、周知徹底を図りました。さらにデマンドタクシー利用方法という動画を運行事業者協力のもと作成し、説明会で流したところ、とてもわかりやすいと

の声をたくさんいただきました。町の公式YouTubeでも動画を公開しており、館岩地域以外でも今後活用できると期待しております。

④番についてはAで計画に位置づけられたとおり適切に実施されました。

⑤番については、館岩地域内は達成率運行割合共に80%を超え、館岩田島地域間については目標値を大きく上回る利用人数となり昨年度以上の利用者に利用していただきました。今後は観光利用にも活用できるのではないかと期待しているところです。

⑥番今後の改善点については、引き続き動画を活用しながらわかりやすい周知を行い、利用促進をはかっていきたいと思っております。

次に令和5年4月より本格運行し、計画に追加した桧沢地域についてであります、

②番事業概要は荒海・長野・栗生沢と同様です。

③番については令和5年度の新規事業のため評価等はありません。

④番についてはAで計画に位置づけられたとおり適切に実施されました。

⑤番については達成率が99.7%とほぼ100%であり、運行割合も100%で、目標通り利用していただきました。これについては実証運行の段階から桧沢地域の区長の皆さんに周知協力をしていただいた結果だと思っております。

⑥については、荒海・長野・栗生沢と同様ですので省略させていただきます。

3～9ページ目以降は地域交通の目指す姿、さらには先ほど説明した事業評価と計画をわかりやすくまとめたものとなっておりますが、内容が重複しておりますので、説明は省略させていただきます。

次に、10ページ計画策定等に係る事業の評価についてですが、こちらは現在策定している南会津町地域公共交通計画の事業評価となります。

まず①番事業の結果概要についてですが、計画準備から各種会議の開催までを行い、結果の概要としては、既存の公共交通のデータを整理し、地域の公共交通の状況を整理、把握することができました。また、各種アンケート調査を行ったことによって、町内、町外での移動需要や公共交通の利用状況を把握することができました。

続いて②番事業実施の適切性については評価をAとし、計画に位置づけられたとおり、適切に実施さ

れております。次に③番計画策定等に向けた方針についてですが、補助対象事業名が、南会津町地域公共交通計画策定調査業務で、事業内容は地域公共交通計画策定に係り各種データの収集や分析を行い、その結果に基づき、地域公共交通等に関する課題や、問題点を整理する。その結果を踏まえ課題解決に向けた基本方針及び目標を設定し、計画を取りまとめます。令和6年3月31日までに策定予定で、今後は交通会議での検討を経て基本方針と基本目標を定めるとありますが、この基本方針と基本目標はこのあとの協議2でご説明いたします。その後素案を作成し、パブリックコメントを募集したのち、3月開催予定の会議を経て、最終的に南会津町地域公共交通計画として取りまとめます。

11ページ目からは本日の協議事項2で説明する内容や、前回の会議で説明したアンケートなどの調査結果が記載されており内容が重複するので説明は省略いたします。

以上で協議1の事業評価についての説明を終わります。

【質疑・意見等】

佐藤会長：今ほどの説明内容につきまして質問、それからご意見、指摘等あれば挙手にてお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。ご意見等ないという形でもよろしいでしょうか。一応全体的に、前の期間と比べまして実数それから達成率ともに、基本的にはアップしており、適切な運行や実績値としても上がっているというふうに考えております。そのような自己評価になってはいますが、私の方で1点、アドバイス等いただければなと思ったのが、長野地域では住民の数からすると実数がやはり少ないような形になっております。その理由としては、同居家族に送迎を頼むケースも多いというようなことが⑤番の達成状況のところにも記載がありますけれども、利用者増に向けたアドバイスみたいなところがもしあれば、国の立場からお伺いしたいと思っておりますが、佐々木専門官から見てどうでしょうか。

福島運輸支局佐々木委員： 実際家族の送迎とかが多いのでしょうか。

佐藤会長：はい。農家さんとかも結構いらっしゃるということで、軽トラックとか家用車を多くお持ちの方もいて、その方が買い物だったり、移動する際に一緒に乗せてもらったりというケースが多いと聞いています。

福島運輸支局佐々木委員：やはり前回はアンケートで出てる通り、車の利用っていうのが非常に多いと思いますが、長野地域のすでに利用したことがある方の声を聞くことができたということで、この前のアンケート調査の結果とかにもおそらく出てるのと思います。そこで実際に利用する方の声として、もうちょっと便数を増やしてほしいなどの要望や、行き先とかである程度改善ができそうな部分を少し取り入れてみるとかをしてあげないとなかなか指標の増には結びついてこないと思います。どうしてもやはり地域の方が車優先というのはやむを得ないことなんだとは思いますが、あとはやはりお試しというか、乗ってもらうような機会を作ってもらって、実際に使ってみると、車の便利さにはかなわないとは思いますがそんなに不便なく使えるというのがわかってもらえると思うので、その周知に努めるということが大事なのかなと思います。

事務局室井：今いただいたように、実際に使ってみると、車よりは便利ではないかもしれませんが、案外便利だったという声もお聞きします。なのでまずは使ってもらえるような、まず取っかかりとして無料券みたいなのを配布したりとか、利用促進キャンペーン期間を設けてみたりとか、そういうことを取り入れていきたいと思っております。ありがとうございます。

《協議事項（1）について原案のとおり承認》

（2）南会津町地域公共交通計画（骨子案）について

○資料2に基づき、株式会社ケー・シー・エス伊藤技師から説明
（説明内容）

・南会津町の公共交通の課題課題を踏まえた現時点版ということで書かせていただいておりますが、こちらですな構成といたしましてはまずは地域特性、また公共交通の実情であったり、アンケート等の結果を踏まえて、前回少し課題出しということでご説明させていただいた内容をちょっと簡単に記載しているものです。2ページにつきましてはその下それらの課題に対して、今後計画期間の中でどのような取り組みを行っているのかという方向性を書いているものです。一番上に基本理念がありましてその基本理念の下支えするもの

として基本方針1から4とそれに基づく基本目標と言った形です。基本目標の達成に向けての施策と、いうことで施策の1から5まで繋がっているといったような関係図です。

3ページにつきましては将来ネットワークのイメージということで、これはまだ現在イメージの内容でしかないんですが目指す姿ということで図示させていただいたものを記載させていただいております。

1点資料の訂正がございます。将来ネットワークイメージの左上の凡例のところでは鉄道と書くべきところg東北本線という全く違う路線名を記載してありまして大変失礼いたしました。こちらは鉄道が正式なものですので、お手数ですが修正をしていただければと思います。失礼いたしました。

では簡単に全体の細かい中身のところについて、ご説明させていただければと思います。1ページの内容ですがこちらに関しましては、先ほど申し上げた課題に結びつくような内容を少し記載させていただいております。例えば地域の特性や移動の特性といったところでは人口の推移といったところであったり、施設の立地状況といったところや人口の分布といったような内容を少し概要で書かせていただいております。移動の特性といたしましても前回アンケートの集計結果で少し図示させていただいておりますが、館岩・伊南・南郷地域から田島地域への地域間をまたぐ流動が見られていたり、市外につきましては会津若松市などの広域的な流動も見られているといったような概要を書かせていただいております。送迎の実態の多さというものも少し書かせていただいております。2番の公共交通ネットワークの状況というところですが、現在サービスを提供している公共交通の各種状況であったり、それらが跨るカバー圏域の内容の話ですとか、利用者の状況の話ですとか、それぞれの各事業者さんでの取り組みの状況などを記載させていただいております。3番の各種調査から見えてきた実態事業者等の意向というところですが、こちらはアンケートの結果の内容を一部抜粋させていただいております。町民アンケートの結果だけ見ますと、公共交通の利用の有無というところでは、全地域であり高くはないというような状況であったり、公共交通を主に利用される高齢者に特化してみたとしても利用者は1割弱といったようなところで、自家用車に頼る、自家用車を主体とした移動を行っているのではないかとといったようなところがあります。その一方で例えば高校生のアンケート調査の結果などをもとにしますと、送迎といったところの割合が多く、これに対して保護者さんが負担を感じられているといった問題であったり、サービスを供給している事業者側の視点といたしましては、乗務員不足やまた、乗務員の高齢化による後継者不足が喫緊の課題といったところで、今後のサービスの供給体制、継続した供給体制というところに懸念があると言ったような内容であったり、また地域内を運行しているデマンドタクシーを対象とした利用者の声としては、今の既存の運行の内容の見直しといったような声が求められている状況を少し記載させていただいております。これらの現状実態に対して、社会情勢の変化であったり南会津町の中での上位関連計画に位置付けられている公共交通の果たすべき役割といったようなところで見ますと、町の将来像としては、「自然と人が笑顔育むまちともに生きるみんなのふるさと」こちらの実現に向けて、公共交通分野としては公共交通の利便性向上、町民みんなが移動しやすいまちというものを、将来像として描いているといったようなところがあります。また、関係分野の部分で都市づくりのマスタープランで見ますと、にぎわいの創出といったところであったり居住環境の質の向上、公共交通ネットワークの維持、安心安全な環境の確保、生活環境の管理活用等を目指しているといったようなところが記載されているところがあります。一方公共交通の社会情勢といたしましては、MaaSといったような内容ですとか、自動運転というような、新たな技術を活用した移動手段、また交通の概念というものが登場してきているところがあります。先立ってですね、会津バス様におかれましては、尾瀬沼を運行する車両の中で、環境に配慮した電気バスを導入して運行しているといったような先進的な取り組みをされているといったところがあります。また、グーグルマップなどを活用した、オープンデータというような形で、スマートフォンで手軽に運行の状況を把握できるような環境の整備というのも、着々と進んでいるといったような状況です。これらの状況等を踏まえまして、南会津町の公共交通を取り巻く課題として、課題1から課題14といったような形で前回ご説明をさせていただいたというようなところがあります。こちらの課題1から課題14というような内容に対しまして、その解消に向けての取り組みの公募の方向性といった内容の関係を示したものが、2ページの図です。まず基本理念といたしまして、公共交通網形成計画の中でも、基本理念というものを掲げているところがありますが、今回町の上位計画であります総合計画の方の将来像が変わりましたので、こちらの基本理念においても、少し修正をさせていただいたというところがあります。内容といたしましては、「快適で充実した生活を送れる魅力ある公共交通ネットワークの形成」という内容です。こちらの理念に向かって、基本方針として、大きく1から4つ挙

げさせていただいておりますが、こちらの基本方針1から4につきましては、公共交通網形成計画の基本方針の内容を踏襲しているものです。基本方針1は町民の生活と交流を支える地域公共交通体系の形成。基本方針2は、利用者ニーズに合わせた公共交通の利便性、安全性の確保。基本方針3がまちづくりと連動した地域公共交通の構築。基本方針4がみんなで支え育む公共交通の体制づくりという内容です。それぞれに対しまして基本目標の1から4という形で整理をさせていただきました。基本方針1につきましては、中心部、郊外部広域を結ぶ公共交通体系の確保維持の内容につきましては、丸ポツで書かせていただいている内容ですが、例えば市街地中心部のところでは、回遊性向上に向けた交通サービスの利便性向上といったようなところであったり、郊外部ではですね、中心部と郊外部を結ぶ公共交通サービスの見直しによる利便性向上であったり、効率化というところでの確保維持を目指していくという内容です。さらには目的地となる施設等が集約する中心部の空白地域も若干ありますので、これの解消であったり、郊外部に存在する空白地域の解消、これを通して、誰もが気軽に公共交通が使える環境を整備していくことで、基本方針1にある生活であったり交流というものを支えていこうという内容です。こちらの基本目標1に対しまして、数値的な目標として、いくつか案で挙げさせていただいておりますが、こちらは総合計画の方でも一部使われている指標を活用させていただいております。デマンドタクシーのエリア数であったり、デマンドタクシーの利用者数、鉄道の利用者数、こちらも総合計画の方で挙げられているところですが、これに加えて、路線バス、こちらも非常に公共交通として重要なものですので、路線バスの利用者数というものも加えさせていただいております。基本方針2に対しましては目標2として、快適な便利な利用環境の充実というものを挙げさせていただきました。中身といたしましては、公共交通機関の相互の円滑な乗り換え環境であったり、過ごしやすい待合環境、利用しやすい支払い方法や車両環境などこれらを一括して、利用環境という表現しております。そういったものを通して利用者さんの増加や、より使いやすい快適だと感じていただけるような環境の構築を進めていくということであったり、どんどん変わっていく情報を、適切な時期や媒体を通して発信していきながら、公共交通に対する興味関心を高めて、認知度の向上を目指していくと言ったような内容です。指標といたしましては会津田島駅における1日当たりの乗降者数というところで、町の公共交通分野での中心の交通結節点である会津田島駅においての乗り換え環境であったり、待合環境であったりが高まってくれば、円滑に乗り換え通していただいて、結果的に指標としての数字が上がってくるところで指標として設定させていただいております。基本方針3に関しましては基本目標3といたしまして、わかりやすい案内情報の充実と、地域公共交通を利用した外出機会の創出というところですが、こちらの部分につきましては、例えば公共交通のみならず、移動というようにところに着目しますと、教育の通学手段というところであったり、高齢者の外出支援といったようなところであったり、買い物や、通院通勤など、様々な形で移動というような場面が発生してきますが、こういった関係分野と連携していくことによって、公共交通をさらに利用し、使われる機会を増やしていくといったようなところで町民の外出機会の増加、これに資する公共交通であって欲しいというところで基本方針、基本目標を入れさせていただいております。もし外出機会の増加が図られれば、指標といたしまして町民一人当たりの利用者数が増加していったり、例えば免許返納後の公共交通への転換というところで自主返納者数の効果が見られるのではないかとということですが、基本方針4に対しましては基本目標4というところで公共交通を守り育てる機運の醸成というところですが、主に基本方針1から基本方針3というところで、既存の交通サービスの見直しや、利用促進策、情報発信、待合環境の整備などに加え、交通サービスの見直しの他、町民と一体的、一緒になって公共交通を考えていくというところが非常に大事な要素であるというふうにとらえております。こうした機運の醸成というところで、基本目標4というものを挙げさせていただいております。これらの指標といたしまして、公共交通の運営、運行の維持に係る町の財政負担額ということを少し盛り込まさせていただいておりますが、基本目標1から3に基づいて、様々な方々が利用していただくことによって、公共交通維持に係る財政負担額というものの現状と同水準であったり、もしかしたら少し減少というような形で効果が発現してくるのではないかといい思いを込めて資料として位置付けさせていただきました。それぞれの基本方針に対しまして施策というところで、矢印を右側に引っ張っているところですが、施策1につきましては、既存の公共交通の見直しに関する内容を事業1-1から6まで入れさせていただいております。施策2に関しましては利用環境に関するものとして、待合環境の分野と、支払い分野、車両の分野に着目したところで、2-1から3というのを入れさせていただいております。基本方針3に対しましては施策3と4ということで、情報の

案内といったところと、関係分野との連携、今で言うと競争というところになりますが、こういったところの利用促進の展開というところを、盛り込みさせていただいております。最後の基本方針4に対しては、施策5公共交通の魅力向上と利用者の意識醸成ということで、5-1と2というような普及啓発に関わる内容であったり、公共交通に行動変容していただくような内容であったり、そういったものを施策事業として、盛り込みさせていただいているところです。最後に3ページになります。こちらの内容ですが左側でございますのは将来ネットワークイメージとしての全体像です。こちらの将来ネットワークイメージですが、軸を矢印で拠点と呼ばれるような結節するところを、赤丸や青丸オレンジの丸等で、記載させていただいているところです。

それぞれの内容につきましては下の表にある通りですが、一番太いところといたしまして青い矢印、こちらが都市間交通軸という名前を付けさせていただいておりますが、今年度策定予定の県の計画と連携していきながら町外に跨っていく広域な移動支えるネットワークの部分です。こちら担うものが鉄道であったり、今の路線バスといったようなところ。その次に、オレンジ色の線で地域内を集めた地域間を結んでいるものといたしまして、地域間交通軸です。こちらがデマンドタクシーというような、例えば館岩田島線の部分であったりとか、路線バス2路線の部分も地域間の移動を支えているものですので、こういった地域間の移動を支えるネットワークとしてオレンジ色で位置付けさせていただいております。その周りに緑色の破線がありますが、こちらが地域内交通です。こちら地域間の拠点に接続していくような移動手段として主に地域内の移動を支えていく内容です。ただ一部の路線につきましては、地域間を結ぶような内容というのも入ってくるものと推察しているところです。その他といたしまして、一般乗用タクシーであったり、スクールバスといったようなところなど、既存の公共交通を補完していく新たな需要に対応した移動手段というものを、この計画の中では位置付けさせていただきたいというふうに思っております。また、中心部の部分の赤いちょっとぼやかしたエリアのところですが、会津田島駅周辺というところは、都市計画の中で都市軸というような形で中心部ににぎわい向上や、回遊性向上を図っていくエリアとして設定されているところですのでこちらに寄与する部分として、都市軸というものを入れさせていただいているところです。続きまして赤色やオレンジ色や青色のマルの部分ですがこちらは拠点の内容です。赤色、右上の会津田島駅を指しておりますがこちらは都市拠点といたしまして、都市機能が中心、集積する中心部において、主要となる拠点といたしまして会津田島駅を位置付けさせていただきます。続きましてオレンジ色になりますが生活拠点というところで、例えばオレンジと緑であったりとか、青とオレンジというような形で乗り換え乗り継ぎをしていく拠点というところ。こちらの部分につきましては各地域の中心的な場所というようなところでまず各種総合支所を入れさせていただいております。その次にございます地域拠点というものがございましてこちら青のマルで囲っているものに関しましては、都市間交通軸と、地域間交通軸または地域の交通軸との理解をしていく拠点ということで、駅であったり、主要なバス停といったところを位置付けさせていただいております。最後に医療拠点ということでピンク色のところがありますが、図の中では記載されておらず申し訳ありませんが、県立南会津病院となります。こちらは住民の医療福祉を支える拠点として、特に移動実態でも、最も集中している施設でございましたので、こちらの医療機関を支える拠点として公共交通ネットワーク上でもアクセスできる環境を整えていくものとして、医療拠点として位置付けさせていただきました。以上がネットワークといったようなところで実施させていただいたものです。特に2ページの基本理念や基本方針基本目標、施策事業に関する内容というものは現時点でまだ案の内容ですので、例えばキーワードやメッセージとしてこういった内容も盛り込みたいとか、逆にちょっとここは踏み込みすぎではないかというようなご意見、またネットワークの部分に関しましても、こういったところも考えられるのではないかなというようなご意見等あれば、ぜひいただければなと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【質疑・意見等】

振興局渡邊委員：2ページのところで確認ですが、課題があってそれに対応する方針目標や施策がありますが、課題が14つあるうち、課題9の人材不足の解消と、課題12観光振興を促すアクセス手段の確保について施策事業で触れられていないように思うのですがその辺は増える予定なんでしょうか。

ケー・シー・エス伊藤技師：課題9の人材不足の解消というところに関しましては、現時点では触れてい

ないところがあります。どういう事業が良いのか今検討中でありまして、最終的には施策5のあたりに記載されてくるものと想定しているところです。あわせて課題12の内容ですが、観光振興を促すアクセス手段の確保というところに関しましては、施策の1の事業1-3の部分であったり、事業1-4の部分で広域の移動を支えるバスの見直しや鉄道の維持確保というようなところあり、そういったところに盛り込んでいたりあわせて1-6移動サービスとの適切な連携といったようなところで、何か新たな観光振興に繋がるようなサービス等の導入等の見込みがあれば、記載できるというふうに考えています。

振興局渡邊委員：人材不足は全国的な問題であり、町でもいろいろ募集などされてると思いますので、その辺も記載されてはいかかなと思います。

佐藤会長：今ほどの質問に関連して最終的には事業の方に反映するというところでよろしいのでしょうか

ケー・シー・エス伊藤技師：その考えでおります。

福島運輸支局佐々木委員：事業1-1、1-2については同じデマンドタクシーですので、一つにまとめて内容に触れるくらいでも良いのではと思いました。また、事業2-1バス停と環境の機能強化については、よく乗り合い待合環境の整備というような言い方もしていますが、バス停環境というのと、どういうものを指してるのわかりにくい。案内版の表記などいろいろあるので、待合環境の整備という言い方が良いのではないかと思います。また、事業4-1と4-2で小中高生と高齢者で分けてありますが、幅広い世代を対象とするなど、まとめても良いのではないかと思います。小中学生はもちろん、5年10年後、実際に免許返納をした高齢者向けにも乗り方教室やっていくことも必要になってくると思うので、幅広い世代という表現でも良いのかなと思った所です。

ケー・シー・エス伊藤技師：事業施策については作り込みの部分で細かく分けすぎてる場所もありますので、この辺りは手に取った方々が見やすく感じていただけるように集約等も進めていきたいというふうに思っております。なおご指摘、ご質問いただいた事業2-1の待合環境の中では、交通結節点との相互乗り換えを円滑に進めていくための拠点整備と、町内にある一つ一つのバス停の待合環境に向けた整備や、掲示物の内容など、案内の部分の見直し等を総合的に向上させるという意味で機能強化という言葉を使わせていただいておりますので、待合環境の整備や待合関係の利便性向上など、わかりやすい表現に読み直していきたいと考えております。また、4-1、4-2につきましても、内容が重複している場所もありますので統合等を図っていきたいというふうに考えております。

佐藤会長：事前に事務局とは話をしましたが、基本方針3でまちづくりと連動したというような基本方針になっていますが、施策の方にいくと整合性や反映されてるところがないように思うので修正や見直しをした方が良いでしょうと思います。基本目標3のところ、案内情報の充実というような記載がありますけれども、こちらについても、基本目標2の方で情報発信については記載がありますので、基本方針2と3で線引きができないところもあるかもしれませんが、整合性を改めて見直しをしていただければなというふうに思います。また文言の細かい表現のところ、少し適切じゃないようなところがありましたのでその部分の修正についても、併せてお願いしたいなと思います。

ケー・シー・エス伊藤技師：ご指摘いただいたように、特に基本方針2の部分と、基本方針3の部分が似ているところも非常に多くございますので、内容を精査させていただいて、わかりやすいようにさせていただきます。あわせて施策3案内の部分の基本方針2に盛り込むべきなのか、そのままにしておくのか、表現等によって変わってくるかと思っておりますので、基本方針2と3につきましても、目標のタイトル、中身の文面、また施策との整合性を含めて、全体的に精査、修正をかけさせていただきたいと思っています。その他の全体的な文面の表現についても同じように誤解等を招かないよう、内容を精査させていただき、素案自体の時には、もう少しわかりやすい内容で修正させていただきたいと思っています。ご指摘ありがとうございます。

佐藤会長：今ほど素案の時という話がありましたが、他の委員の皆様からもご意見ご指摘等あった点については、修正をさせていただいて次回の会議の資料の送付の際に合わせて、お示しするというところでよろしいでしょうか。

ケー・シー・エス伊藤技師：そのように考えています。

《協議事項（2）について原案のとおり承認》

(3) その他

○事務局（室井）より次回の会議開催予定日について説明

・次回の会議の開催予定は令和6年1月24日水曜日、場所は本日と同じ正庁を予定しております。協議内容につきましては、先ほど申し上げました、素案についてお示ししたいと思いますので、今回ご指摘のあった基本方針の内容であったり、施策の内容を修正した形での素案を事前に資料として送付させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会津鉄道(株)湯田委員より情報提供

・リバティ会津について、来年の3月16日にダイヤ改正を行います。各駅停車しないためデマンドタクシーの必要性、重要性というのが大いにあると考えられます。運行本数は変わりありません。また、会津長野駅もまだ整備されておらず体の不自由な方とかいらっしゃるとちょっと不便であると考えられますので、デマンドタクシーに関して必要性があるというふうに感じられます。その他、年末年始は臨時列車が運行いたします。お座トロ展望列車も運行しますので、地元の方はもちろん、帰省されたお客様にもぜひ利用していただければというふうに思います。昨年1月1日と4日大雪倒木の影響により運休がございました。今年の冬は暖冬と言いますが、そういった形でご迷惑をかけるかもしれませんが、地域の皆様とともに一生懸命頑張っていきたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたしますというふうに思います。以上です。

4 閉会

(舟木係長)

・ありがとうございました。構成員の皆様におかれましても、協議に対して慎重審議いただきまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第4回南会津町地域公共交通会議を終了させていただきます。お帰りの際はお気をつけてお帰りください。本日は大変お疲れ様でした。

詳しい説明内容等については別添資料のとおりです。

以上